

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	開発途上国福祉専門家養成等事業		担当部局庁	大臣官房		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成15年度		担当課室	国際課		藤井 康弘		
会計区分	一般会計		施策名	施策中目標VI-3-2 二国間等の国際協力を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	政府開発援助大綱 国連ミレニアム開発目標				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成8年のリヨンサミットにおいて我が国が提唱した「世界福祉構想」の実現に向け、我が国と緊密な関係にあるASEAN諸国の社会保障分野の政策形成の支援及び当該分野での人材育成を強化するため協力を行うとともに、国連ミレニアム開発目標(MDGs)の達成に向け、水供給分野の国際協力における開発効果を高めるため、国際協力事業を実施する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	ASEAN諸国の社会保障分野の政策形成の支援及び当該分野の人材育成を強化するため、ASEAN・日本社会保障ハイレベル会合を通じ、ASEAN10ヶ国から社会福祉と保健医療政策を担当する局長級行政官を招聘し、高齢化社会への対応、母子・障害者保健福祉、社会的弱者支援等をテーマとした議論を実施している。また、国連ミレニアム開発目標(MDGs)の達成に向けた水供給分野の国際協力における開発効果の向上のため、水道分野の国際協力検討事業を通じ、我が国の水道事業者及び厚生労働省が持つノウハウを活用し、水道分野の協力方針の検討を行うとともに、水道プロジェクト計画作成指導事業を通じ、開発途上国における水道分野の技術面・人材面・財政面等の課題について調査・検討を行い、熟度の高い計画となるよう当該国に対し助言・指導を実施している。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	75	65	53	53	48	
		繰越し等	74	64	52	53		
		計	0	0	0	0		
	執行額	74	64	52	53	48		
	執行率(%)	70	64	47				
94	100	92						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(23年度)
	アンケート評価の平均値(会合参加者へのアンケート調査において「会合が有効だった」とする評価)		成果実績	点	4.4/5点中	4.2/5点中	4.6/5点中	4.6/5点中
			達成度	%	107%	95%	110%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	当該会合開催事業参加者(ASEAN 10カ国)		活動実績(当初見込み)	人	29	32	46	—
					—	—	(40)	(50)
単位当たりコスト	—		算出根拠	(本事業は、ASEAN諸国の行政官の人材育成を強化し、ひいてはその国々の厚生労働行政の向上を図るものであることから、「単位あたりコスト」という考え方にはなじまない。)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	政府開発援助職員旅費	1	1	・事業内容の一層の効率化による。				
	政府開発援助衛生関係指導者育成等委託費	52	47					
計	53	48						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・企画競争により選定
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>(ASEAN・日本社会保障ハイレベル会合開催事業)</p> <p>● 会合開催に関する評価を参加者のアンケートにより実施しており、達成度は向上している。また、本会合はASEAN+3保健及び社会福祉大臣会合を支える事業として位置付けられており、当該会合結果について各大臣会合等で報告をしているところ。</p> <p>● ASEAN10カ国のうち非ODA対象国からの参加者については経費自己負担による参加となっている他、ODA対象国からの参加者について招聘規定人数を超える参加申し込みがあった場合も経費自己負担による参加としているところであるが、経費自己負担による参加は年々増加している(H20年度:4名→H21年度:7名→H22年度:12名)。また、ASEAN+3の枠組みにおいて中国、韓国から本会合への高い関心が示され、H22年度会合より両国からの参加(経費自己負担)も受け入れている。</p> <p>● 本事業は企画競争(複数応札)による委託業者の選定を実施することにより、透明性の確保及び事業の効率性を高めている。H22年度の本事業委託先が民間企業となり、前年度と比較して同等の事業内容で決算額が約24%抑制された。(水道分野の国際協力検討事業/水道プロジェクト計画作成指導事業)</p> <p>● 事業の対象とした全ての開発途上国において、水道プロジェクトの作成能力向上のための指導が行われ、ニーズに適合したプロジェクト内容について合意が図られた。水道分野の協力方針を踏まえ、引き続き公募を行うことにより、日本が持つノウハウを生かし最も効果的・効率的に技術協力を行うことができる開発途上国において事業を実施する。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>本事業は、必要性や執行の観点からも概ね妥当であるが、事業内容を精査の上で、より効率的に執行ができるように見直すとともに、予算要求に反映すること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
○ 事業内容の一層の効率化により、現地(開発途上国)での活動経費の削減を図るなど、経費の圧縮に努めた。(△5百万円)			
補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>○ 平成20年10月、会計検査院より以下の指摘を受けた。</p> <p>指摘: 本事業受託業者の勤務実績表がないなど、業務に従事した日数または時間数を実績に基づいて計算していない。</p> <p>対応: 平成19年度事業精算分より、勤務実態に合わせた計算とし、改善されている(平成21年4月14日)。</p> <p>○ 平成20年12月16日、総務省「契約の適正な執行に関する行政評価・監視」により、以下の指摘を受けた。</p> <p>指摘: 企画競争において説明会開催日から企画書提出締切日までの期間が短期間(10日未満)となっている。</p> <p>対応: 平成21年度契約案件では説明会を開催していないものの、公示期間を9日間から15日間に延長することとし、改善されている(平成21年4月8日)。</p> <p>指摘: 応募(応札)条件として同種又は類似業務の実績を設定している。</p> <p>対応: 平成21年度契約案件より仕様書を変更し、応札条件から同種または類似業務の実績を削除し、改善されている(平成21年4月8日)。</p>			

厚生労働省
47百万円

【委託・企画競争】

A. (株)JTBコミュニケーションズ
29百万円

(ASEAN・日本社会保障
ハイレベル会合開催事業)

【契約】

B. 民間団体(6)
18百万円

(内訳)
株式会社JTBグローバルマーケ
ティング&トラベル 12百万円
株式会社アイビーインターナシ
ョナル 2百万円
株式会社コムエンス 1百万円
オフィス・デポ・ジャパン株式会
社 1百万円
有限会社トータルマップ 1百万円
有限会社食楽宝庫 1百万円

(航空券・宿泊手配、
印刷製本、通訳等)

【委託・企画競争】

C.(社)国際厚生事業団
7百万円

(水道分野の国際協力検討事業)

【契約】

D. 民間団体(8)
2百万円

(内訳)
イデオリンク株式会社ほか7者
2百万円

(航空券・宿泊手配、
印刷製本、翻訳等)

【委託・企画競争】

E. 民間団体(2)
11百万円

(内訳)
株式会社クボタ 6百万円
メタウォーター株式会社
5百万円

(水道プロジェクト計画
作成指導事業)

【契約】

F. 民間団体(3)
2百万円

(内訳) (株式会社クボタの例)
個人 1百万円
クボタエイトサービス株式会
社ほか1者 1百万円

(コンサルティングワーク、
印刷製本、翻訳等)

(うち事務費1百万円)

(※百万円以下については端数処理
を行っている)

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A. (株)JTBコミュニケーションズ			E. (株)クボタ		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	ASEAN・日本社会保障ハイレベル会合にかかる外国旅費・国内移動費(会合参加)	13	旅費	水道プロジェクト計画作成指導事業にかかる外国旅費	3
会議運営費	ASEAN・日本社会保障ハイレベル会合にかかる飲食費、印刷製本費、消耗品費、会場設営費、会場移動費、通訳費	6	物品購入等	水道プロジェクト計画作成指導事業にかかる消耗品費、翻訳費、報告書の印刷製本等	1
人件費	ASEAN・日本社会保障ハイレベル会合にかかる人件費	5	業務委託費	個人 水道プロジェクト計画作成指導事業にかかる上	1
管理運営費	ASEAN・日本社会保障ハイレベル会合にかかる業務経費等	4			
計		28	計		5
B. (株)JTBグローバルマーケティング & トラベル			F. 個人		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	ASEAN・日本社会保障ハイレベル会合にかかる参加者の旅費、交通費等	7	役務	水道プロジェクト計画作成指導事業にかかる上水道調査・技術計画に関するコンサルティング	1
宿泊費	ASEAN・日本社会保障ハイレベル会合にかかる参加者の宿泊費	3			
輸送費	ASEAN・日本社会保障ハイレベル会合にかかる物品の運搬費	2			
計		12	計		1
C. (社)国際厚生事業団			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	水道分野の国際協力検討事業にかかる会議運営、報告書作成に要する人	2			
会議運営費	水道分野の国際協力検討事業にかかる会議費、印刷製本費、消耗品費、通	2			
旅費	水道分野の国際協力検討事業にかかる旅費	2			
計		6	計		0
D. イディオリンク(株)			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	水道分野の国際協力検討事業にかかる航空運賃等	1			
計		1	計		0

支出先上位10者リスト

A.(株)JTBコミュニケーションズ

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)JTBグローバルマーケティング&トラベル	航空券・宿泊手配、輸送	12	随意契約	
2	(株)アイビーインターナショナル	通訳、翻訳	2	随意契約	
3	(株)コムエンス	映像	1	随意契約	
4	オフィス・デポ・ジャパン(株)	印刷	1	随意契約	
5	(有)トータルマップ	印刷製本(プログラム集)	1	随意契約	
6	(有)食楽宝庫	ケータリング	1	随意契約	
7					
8					
9					
10					

C.(社)国際厚生事業団

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	イディオリンク(株)	航空券・宿泊手配、翻訳、印刷製本	1	2	92.50%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

E.(株)クボタ

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人	コンサルティングワーク	1	随意契約	
2	クボタエイトサービス(株)	翻訳、印刷製本、電子ファイル化	1	随意契約	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					